

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和26年～			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	05 結核・じん肺
事務事業名 01 結核予防事業			
根拠法令・規程等		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律などの一部を改正する法律	
問 担当課(室)		保健課	
合 職・氏名		健康係長・白鷺由美子	
先 電話		64-1820	

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	備前市在住で、職場や学校で受診する機会のない40歳以上の市民(国の方針では65歳以上となっているが、肺がん検診対象者が40歳以上であり同時実施のため40歳以上としている。なお、備前市では結核罹患率等が高いことから、15歳以上の希望者にも実施している。)
目 的 (何のために)	昭和26年に制定された結核予防法に基づいて検診を実施していたが、平成19年4月に結核予防法が廃止され、6月からは改正感染症第五十三条に基づいて、結核感染者の早期発見と感染予防に努める。
行 政 活 動 (どのような方法で)	検診ガイド配布時に備前市愛育委員による受診勧奨を行ない、備前市各地区をレントゲン撮影台搭載車で巡回し、胸部間接撮影を実施する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	結核の早期発見、早期治療と感染予防

事業の実績						
活 動	実 施 項 目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	胸部間接撮影受診者数		人	6,529	6,359	5,936
	胸部間接撮影受診率		%	58.2	47.9	34.6
	精検者数		人	307	267	386
	精検受診者数		人	294	256	377
	精検受診率		%	96.0	95.9	97.7
実 績	対象者数		人	11,216	13,265	17,164
	事業費		千円	4,697	4,164	3,887
	必要人員		人	0.65人	0.27人	0.05人
	事業費		千円	8,162	5,915	4,186
	国 県 支 出 金		千円	0	0	0
	受 益 者 負 担 金		千円	0	0	0
総 入 金		千円	0	0	0	
そ の 他 ()						
一 般 財 源			8,162	5,915	4,186	
受 益 者 負 担 比 率		%				

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	結核検診受診者数	説明	結核検診受診者数		
	結 果 指 標 量		6,529	6,359	5,747
	対 前 年 比	%	—	97.4%	90.4%
	活 動 コ ス ト	円	8,162,000	5,915,000	4,186,000
結果指標②	精検受診率	説明	精検受診率		
	結 果 指 標 量	%	96.0	95.9	97.7
	対 前 年 比	%	—	99.9%	101.9%
	活 動 コ ス ト	円	8,162,000	5,915,000	4,186,000
			85,021	61,679	42,845

事業の成果						
結果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値	
		目標値(A)	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値(B)	58.2	47.9	34.6	到達目標年度
		達成率(B/A)	116.4%	95.8%	69.2%	平成20年度

結果指標設定の考え方・式や説明
結核検診受診者数/結核検診対象者数
平成20年度より受診率の考え方が厚労省がん検診指針により対象者の算出方法が変更になったため、前年度の受診率と平成20年度以降の受診率の比較はできない。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりのコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	平成19年度4月に結核予防法が廃止され、6月より二類感染症として改正感染症法に基づき実施している。全国的に見て年々結核患者数は減少しているが、備前市は東備管内でも結核罹患率が高く、20年の新規登録結核患者数は16人であり、毎年十数人の発症が認められている。感染症予防の観点からも実施すべき事業である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 説明 健康管理上、必要な検診であるため市民からの要望が強い。	
	効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	20年度に過去の受診状況等を勘案し、受診者数が少ない隣接する会場を見直し・検討した。精検対象者で未受診者については、20年度はハガキにて精検の受診勧奨を行ない、精検受診率の向上につなげることができ効率的であった。
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	国の方針では結核検診の対象者を65歳以上としているが、備前市での新規登録結核患者は65歳以下の人も少なくない。結核は呼吸器感染症であり蔓延するおそれもあるので、幅広い年齢層に受診勧奨することは有効である。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	
	効果指標	<input type="checkbox"/> 効果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 効果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	国の方針では結核検診の対象者を65歳以上としているが、備前市での新規登録結核患者は65歳以下の人も少なくない。結核は呼吸器感染症であり蔓延するおそれもあるので、幅広い年齢層に受診勧奨することは有効である。

平成21年度の状況		6,500	結果指標量②	100	成果指標量	50
目標値	結果指標量①					
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	青壮年期への利便性を図るために、ナイター検診、休日検診を引き続き実施し受診率の向上に努める。また精検対象者で未受診者に対しては結果が適正に活かせるようハガキで精検受診を促す。検診会場の見直しでは、21年度から恵美須宮前・徳当の2会場を廃止とした。(適切な広場がなく、道路使用上危険を伴う懼れがあり、近くに隣接する会場があるため)					

総合評価		評価区分<A~E>
備前市では毎年結核患者が数十人登録されており、結核の蔓延を防ぐためにも結核検診とBCG接種の必要性を広報や子どもへの予防接種の説明時に普及啓発していくことが予防の観点からも重要である。よって結核予防事業においては、受診率の向上を目指しながら、コストの削減にも努力し実施を継続していく必要がある。		妥当性 有効性 効率性 B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	毎年結核患者が発生しているにも関わらず受診率が低下してきているので、結核検診の受診勧奨をさらに促す必要がある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
改善がある場合	効率性	検診の会場、時間の見直し。	平成21年度	コストの削減		
	有効性	愛育・栄養委員の声かけや検診ガイド、広報、HP、ひなびじょん、イベントなどで結核検診のPRを図る。	平成21年度	検診受診率の向上		